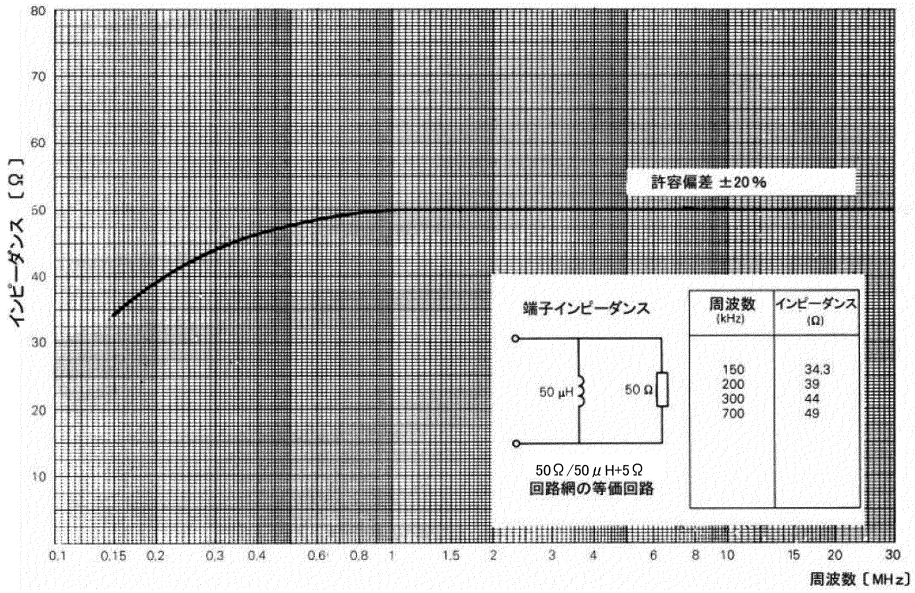
200	−0.5	−0.4	−0.8	−0.5
250	0.4	1.1	−0.1	0.9
300	0.3	0.4	−0.4	0.3
垂直偏波の測定では、測定用空中線の下端を大地面から25cm以上離すこと。				

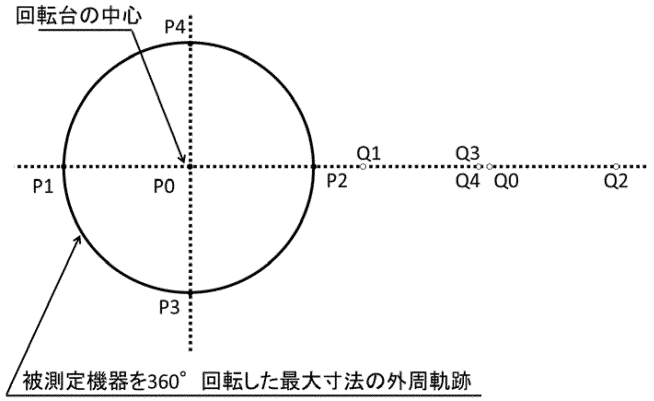
別表第七号　同調ダイポールアンテナを用いた正規化サイトアッテネーション測定に使用する相互インピーダンス補正係数（地上高３mにおけるアンテナ係数を用いる場合）

補正係数ΔAF_{TOT}（dB）				
測定距離	d＝3m		d＝10m	
周波数 f_m (MHz)	水平偏波 h_1＝2m h_2＝1～4m	垂直偏波 h_1＝2.75m h_2＝1～4m	水平偏波 h_1＝2m h_2＝1～4m	垂直偏波 h_1＝2.75m h_2＝1～4m
30	1.0	0.5	−1.1	−0.3
35	1.1	−0.5	−1.5	−1.4
40	1.3	−0.6	−1.5	−0.9
45	1.7	0.0	−0.4	−0.1
50	2.6	1.3	1.4	1.0
60	2.8	3.4	3.6	2.9
70	0.1	2.2	1.5	1.7
80	−2.1	0.2	−2.1	−0.1
90	−2.0	−0.2	−2.6	−0.3
100	−0.6	0.8	−1.0	0.8
120	0.4	0.6	0.7	0.6
140	−0.5	−0.3	−0.8	−0.2
160	−0.5	1.3	−0.1	1.2
180	−1.4	0.0	−1.1	0.0
200	0.3	0.5	0.0	0.4
250	−0.2	0.5	−0.7	0.3
300	0.2	0.4	−0.4	0.3
垂直偏波の測定では、測定用空中線の下端を大地面から25cm以上離すこと。				

別図第一号　擬似電源回路網のインピーダンス一周波数特性



別図第二号　電波吸収体や電波の透過性の良い材質による覆いが施設された金属基準大地面付きの測定場の正規化サイトアッテネーションを測定する際の送信用空中線及び測定用空中線の配置



注１　P0、P1、P2、P3及びP4は送信用空中線の位置とし、これに対応する測定用空中線の位置はそれぞれQ0、Q1、Q2、Q3及びQ4とする。

２　P0～Q0、P1～Q1、P2～Q2、P3～Q3及びP4～Q4間の距離は、それぞれ10m（一般用非接触電力伝送装置において、測定距離３mで測定する場合は３m）とする。